



木次っ子の四季

～互いに互いの成長を喜び合う学校～

校長:伊藤彰彦



学習発表会が終わりました。どの学年も一生懸命に学習した成果を発表しました。やり切ったという満足そうな子ども達の表情が印象に残りました。寒い季節となっていますが、子ども達は元気に学校生活を送っています。

さて、来年1月には、雲南市においても国が進めるGIGAスクール構想がスタートします。一人が一台の端末機（タブレット）をもち、学習に活用していきます。

世界から見ると日本の小学生、中学生は学習の中でICT機器を活用することがとても少ないようです。こうした点を鑑みての国の事業です。学習にICTの活用が少ないということは、子ども達の学びに大きな影響があると思います。本校でも活用をしていますが、圧倒的に子ども達の文字表現力に差があります。頭で考えたことが素早く文字になることのよさは、計り知れないと感じています。それだけではないメリットも多くあると感じています。

子ども達が大人になったころは、ICTを活用した仕事がぐんと増えるはずですが。東京の会社が勤務先でも、島根にいながら会社の仕事を行うというスタイルになるのかもしれませんが。実際、沖縄県にはインターネットを使って仕事をする事で生活の拠点を沖縄にし、Iターンした人が増えているそうです。ICT機器を正しく活用する力を伸ばすことは、子どもたちの未来に関わることだと思います。私たち教職員も勉強しながらしっかりと取り組んでいきます。

2年生の発表

2年生は、国語の教科書に載っている「名前を見てちょうだい」というお話をもとに台本を作り、生活科の町探検で発見した町のよさを取り入れて劇で発表をしました。自分の帽子を返してほしいと「しっかり主張することの大切さ」や地域のよさを伝えました。



お母さんに作ってもらった帽子が風に飛ばされ、いろいろな人のところに渡っていきます。最後に行きついた先は、大男のところでした。そこで、えっちゃん は・・・



ダンスの様子です。ステージの上と下を使って、思いっきり体を動かしました。曲は「ビューティフルネーム」でした。「名前を見てちょうだい」にぴったりででした。

1年生の発表

1年生は、国語の教科書に載っている「サラダでげんき」というお話をもとに台本を作り、劇で発表をしました。病気のお母さんにサラダを作ることを思いついた、りっちゃん。作り方を動物たちから習います。各教科で学習したことを披露して、楽しみながら発表しました。



たくさんの動物たちのすごいところはどんなものをサラダに入れるといいかにつながっていました。音楽や体育の発表も入れて楽しくできました。



嵐の「Happiness(ハピネス)」に合わせて、かわいいダンスでした。りっちゃんのお母さんはサラダを見てハッピーな気持ちになりました。人と違う振り付けもあるのですが、しっかりマスターして元気に発表しました。

3年生の発表

国語の教科書にある「モチモチの木」のお話をもとに、子ども達が台本を作りました。主人公の豆太が勇気のある子になるよう、木次小学校の3年生が勉強を教えるという、楽しい劇でした。



豆太は、夜になると庭にあるモチモチの木が怖くて、一人でおしっこに行けませんでした。3年生が豆太に勉強を教えて、豆太が自信をつけていくというストーリーです。



「炎と森のカーニバル」の曲に合わせて歌いながらダンスをしました。にこにこ笑顔のダンスで、見ている方も笑顔になりました。

4年生の発表

島根発祥のミュージカル「あいと地球と競売人」を木次小バージョンにして発表しました。環境について学習したことをまとめて劇にしました。ダイナミックな発表でした。



歌ありダンスありのミュージカルでした。4年生のエネルギーが一気に表出された発表でした。リユース、リデュース、リサイクルを分かりやすく伝えました。



環境を守るには、一人一人が気をつけること、みんなが力を合わせて取り組むことが大切だと、4年生は学んだことを発表しました。

5年生の発表

三瓶研修での学びをオリジナル劇にしての発表でした。協力して困難を乗り越えたこと、楽しかったことなどみんなが大切にしたいことを劇にしていました。キャンドルサービスでの「誓いの言葉」は圧巻でした。



キャンドルサービスで、班長さんが火の神から受け取った炎は、一人ひとりの心に今も燃え続けていることを伝えてくれました。カッコよかったです。



キレッキレのダンスでした。曲は「やってみよう」でした。まさにぴったりです。この気持ちで、何にでも挑戦して来年のリーダーとして突き進んでほしいです。

6年生の発表

修学旅行での学びを生かして島根県のいいところを紹介しました。歴史、文化、自然など多くのよさを発見し、伝えました。思考ツールを使って分かりやすくまとめた発表は、日頃の学習の成果でした。



6年生は「SHIMANE」というヒップホップ（音楽の種類）に合わせ、ダンスを披露しました。この曲は島根のことを歌っています。



自分たちの目で見て、歩いて感じた島根のよさをしっかり伝えました。この島根をよくしていくのは自分たちだと力強く発表しました。

「スポーツ・文化活動の振興関連予算」を活用し、以下のものを購入しました。

雲梯、ソフトバレーボールの支柱、プリンター一体型ストップウォッチ

ミニサッカーゴール、ミニハードル

子ども達の体力育成に有効活用させていただきます。

特別支援教育連載「かけはし」



面談では、学校での様子やお子さんの成長などを伝えたり保護者の皆様からの相談をお聞きしたりします。以前に紹介した「学校での学び場」についての話題がよくあがります。それを考える際のアドバイスを紹介します。

①お子さんが20歳になる姿を想像する。

どんな職業に就いてほしいか、どういった方面の学業を修めてほしいか、どんな人になってほしいか、など。それまでに、高校はどこがいいのか、中学校ではどのような学びの場がいいのかも考える。

②①のようになるために今の学び場はどこがいいのか考える。

通常の学級、特別支援学級、通級指導、その他、様々な学びの場があります。私たちは、お子さんがかかえている困り感に寄り添い、一人一人に合った学習の在り方を一緒に考えていきます。

質問等がありましたら、一緒に考えさせていただきますので、どうぞお気軽にご相談ください。